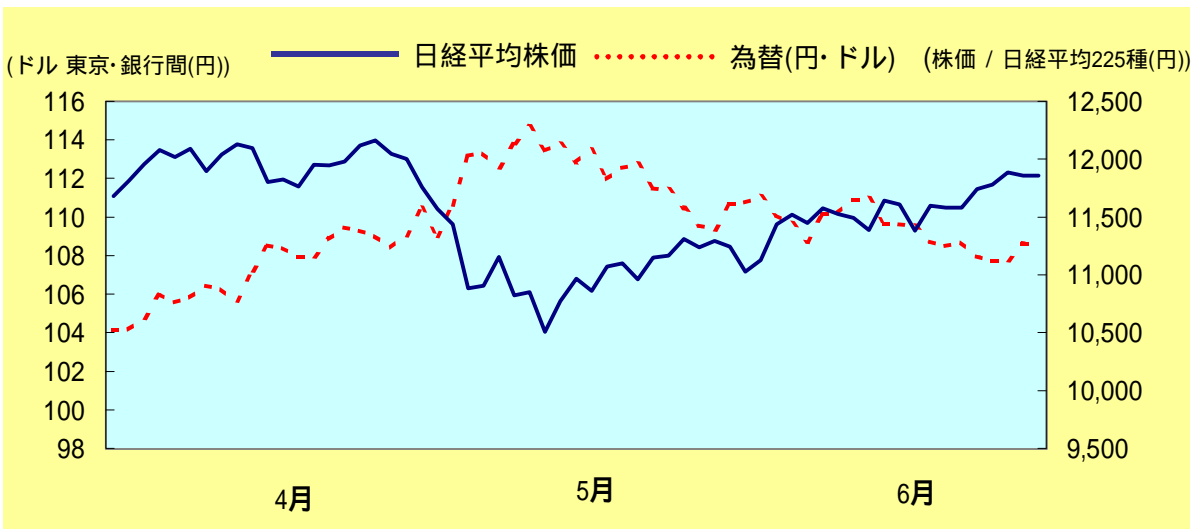


# 景気動向調査のまとめ

平成16年4月～6月

大分みらい信用金庫では、3カ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

## 株価と為替の動き



## 調査内容

平成16年4～6月期の業況 / 平成16年7～9月期の業況予想

## 今回の調査実施時期

平成16年6月初旬

## 調査先数

大分市、別府市、挾間町、日出町の事業所189先

## 調査先業種別内訳

製造業	25先	小売業	56先	卸売業	19先
サービス業	60先	建設業	16先	不動産業	13先

## 調査方法

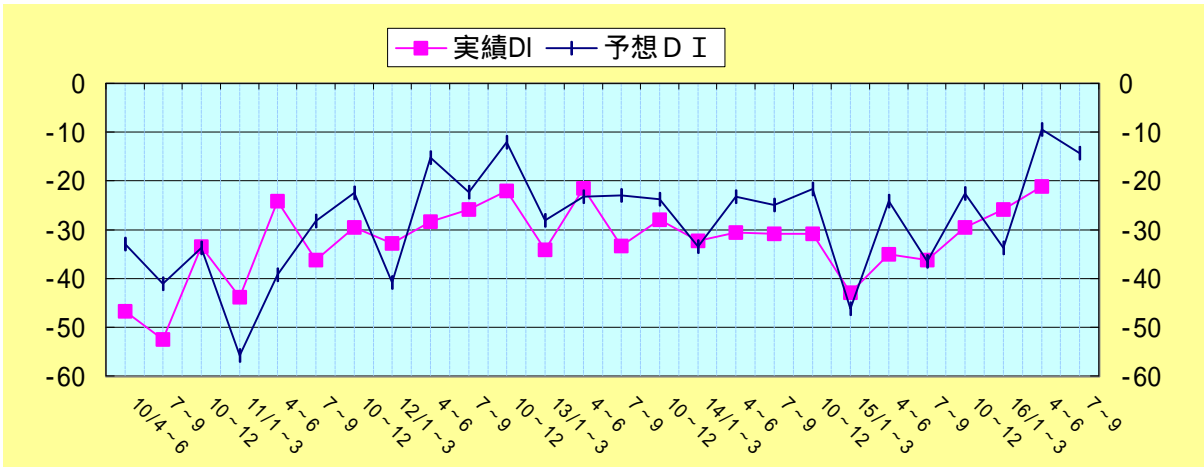
面接・聞き取りによる感触調査

## 分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)にて分析しています。

# 県内経済概況

## 業況判断・実績DI / 予想DI値推移



## 業種別天気図

	総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
4～6月期実績	21.2	28.0	35.7	26.3	0.0	37.5	15.4
7～9月期予想	14.3	4.0	26.8	26.3	18.3	18.8	15.4
表の見方	DI:25以上	DI:15～24	DI:0～14	DI: 1～ 14	DI: 15～ 24	DI: 25以下	

## 4月～6月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

4月～6月の県内企業の景況感を表す総合業況DIは、21.2となり、依然としてマイナス数値にあるものの、前期比で4.6ポイント上昇、前年同期比で13.9ポイントの上昇となった。また、業種別の前年同期比では、小売業、卸売業、サービス業、不動産業に好転が見られ、建設業、製造業は下降となった。一方、7月～9月の総合業況予想は14.3で、今期比6.9ポイント上昇と全般的に改善見通しである。

## 県内経済情勢報告(平成16年4月)

(財務省九州財務局 大分財務事務所報告より抜粋)

県内経済は、一部に厳しい状況が続いているものの、緩やかな回復の動きが見られる

- ・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ・設備投資は、前年を下回る見通しながら、依然高水準にある。
- ・生産活動は、順調に推移している。
- ・雇用情勢は、改善の動きが続いている。
- ・企業利益は、減益の見通しとなっている。

# 業種別景況

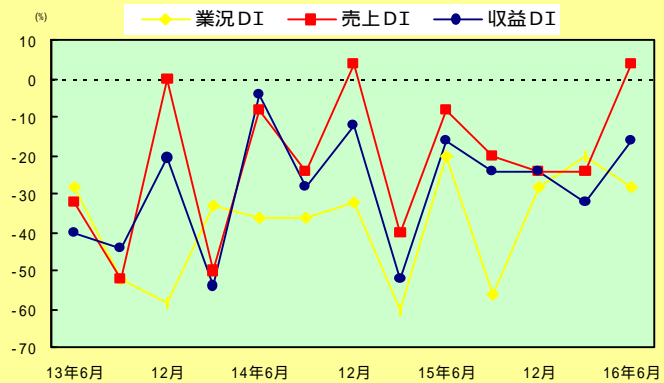
## 製造業

### 景況

業況DIは 28.0で、前期比8.0ポイントの下降、前年同期比8.0ポイントの下降となった。一方、売上DIは4.0で、前年同期比12.0ポイントの上昇、収益DIは 16.0で、前年同期と同数値となった。

### 来期（7～9月）の見通し

業況DIは 4.0で、今期比24.0ポイントの上昇と大幅な改善見通し。一方、売上DIは 12.0で、同16.0ポイントの下降、収益DIは 33.3で、同17.3ポイントの下降見通しとなっている。



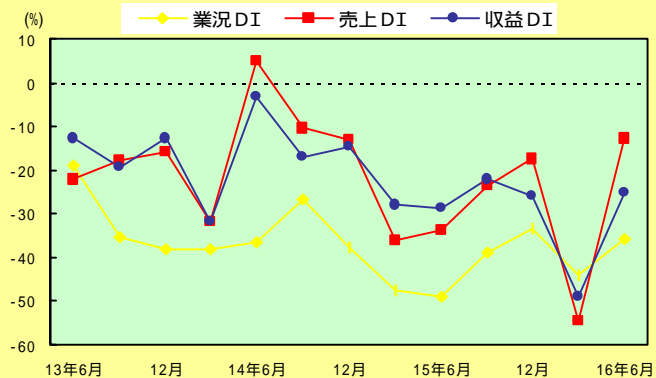
## 小売業

### 景況

業況DIは 35.7で、前期比8.2ポイントの上昇、前年同期比13.5ポイントの上昇となった。また、売上DIは 12.5で、前年同期比21.4ポイントの上昇、収益DIは 25.0で、同3.8ポイントの上昇となった。

### 来期（7～9月）の見通し

業況DIは 26.8で、今期比8.9ポイントの上昇見通し。一方、売上DIは 14.3で、同1.8ポイントの下降、収益DIは 17.9で、同7.1ポイントの上昇見通しとなっている。



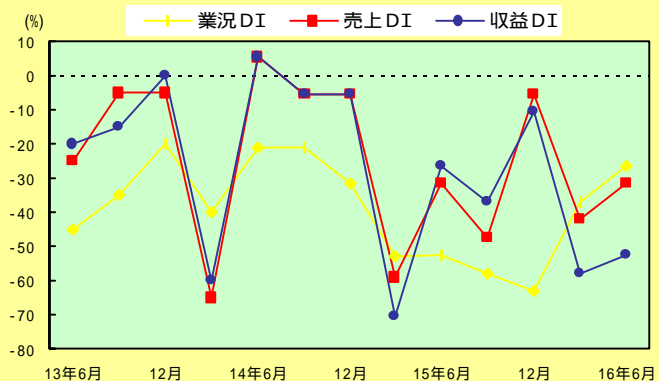
## 卸売業

### 景況

業況DIは 26.3で、前期比10.5ポイントの上昇、前年同期比26.3ポイントの上昇となった。また、売上DIは 31.6で、前年同期と同数値、収益DIは 52.6で、同26.3ポイントの下降となった。

### 来期（7～9月）の見通し

業況DIは26.3で、今期比52.6ポイントの上昇と大幅な改善見通し。また、売上DIは47.4で、同79.0ポイントの上昇、収益DIは 31.6と同84.2ポイントの上昇見通しとなっている。



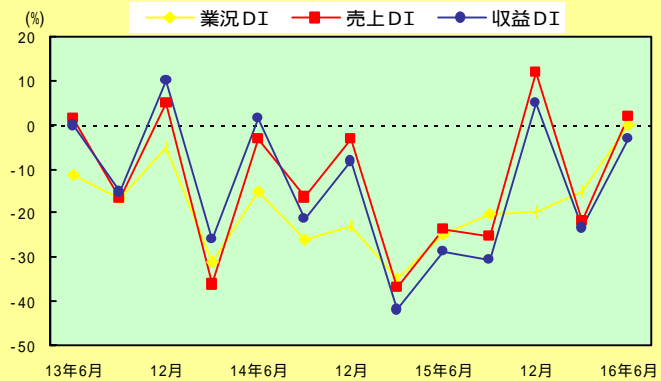
## サービス業

### 景況

業況DIは0.0で、前期比15.0ポイントの上昇、前年同期比25.0ポイントの上昇と大幅な改善となった。また、売上DIは1.7で、前年同期比25.4ポイントの上昇、収益DIは3.3で、同25.5ポイントの上昇となった。

### 来期（7～9月）の見通し

業況DIは18.3で、今期比18.3ポイントの下降見通し。また、売上DIは13.3で、同15.0ポイントの下降、収益DIは15.0で、同11.7ポイントの下降見通しとなっている。



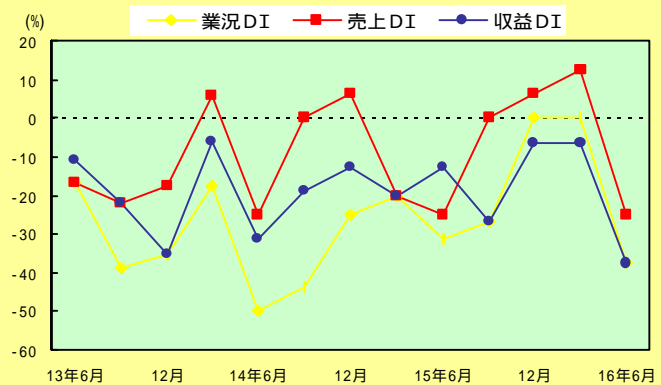
## 建設業

### 景況

業況DIは37.5で、前期比37.5ポイントの下降、前年同期比6.2ポイントの下降となった。また、売上DIは25.0で、前年同期と同数値、収益DIは37.5で、同25.0ポイントの下降となった。

### 来期（7～9月）の見通し

業況DIは18.8で、今期比18.7ポイントの上昇見通し。また、売上DIは18.8で、同6.2ポイントの上昇、収益DIは25.0で、同12.5ポイントの上昇見通しとなっている。



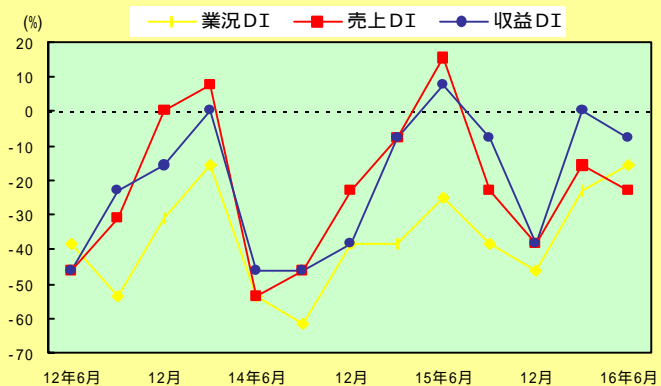
## 不動産業

### 景況

業況DIは15.4で、前期比7.7ポイントの上昇、前年同期比9.6ポイントの上昇となった。一方、売上DIは23.1で、前年同期比38.5ポイントの下降、収益DIは7.7で、同15.4ポイントの下降となった。

### 来期（7～9月）の見通し

業況DIは15.4で、今期比横ばい見通し。また、売上DIは0.0で、同23.1ポイントの上昇、収益DIは15.4で、同7.7ポイントの下降見通しとなっている。



## 設備投資の動き

(複数回答・1先3項目以内選択)

種類	4月～6月期	7月～9月期
機械・設備の新・増設	5	4
機械・設備の更新	7	8
事務機器	8	7
車両	6	2
事業用土地・建物	7	8
その他	2	2
設備投資なし	139	133

## 経営上の問題点

上位5項目(複数回答・1先3項目以内選択)

1	売上の停滞・減少	110
2	同業者間の競争の激化	86
3	利幅の縮小	46
4	大手企業との競争の激化	31
5	商圏人口の減少	14

## 当面の重点経営施策

上位5項目(複数回答・1先3項目以内選択)

1	経費節減	100
2	販路の拡大	76
3	宣伝・広告の強化	29
4	情報力の強化	23
5	人材確保	22

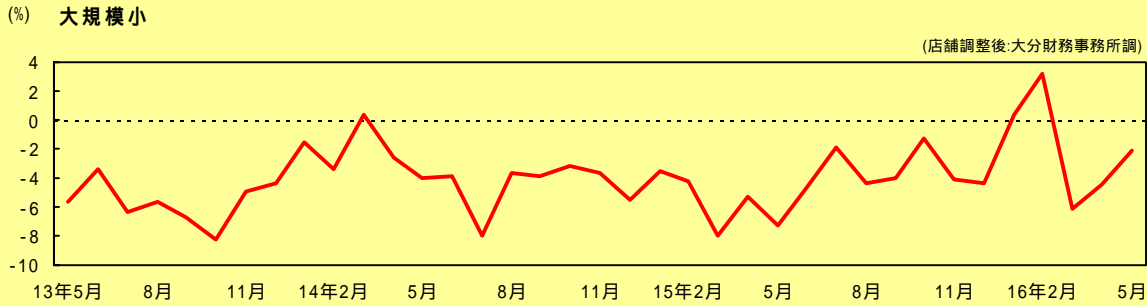
## DI 数値表

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	4月～6月実績	21.2	28.0	35.7	26.3	0.0	37.5	15.4
	7月～9月予想	14.3	4.0	26.8	26.3	18.3	18.8	15.4
売上	4月～6月実績	9.5	4.0	12.5	31.6	1.7	25.0	23.1
	7月～9月予想	6.9	12.0	14.3	47.4	13.3	18.8	0.0
受注残	4月～6月実績	17.1	20.0	***	***	***	12.5	***
	7月～9月予想	29.3	28.0	***	***	***	31.3	***
施工高	4月～6月実績	37.5	***	***	***	***	37.5	***
	7月～9月予想	37.5	***	***	***	***	37.5	***
収益	4月～6月実績	19.6	16.0	25.0	52.6	3.3	37.5	7.7
	7月～9月予想	14.0	33.3	17.9	31.6	15.0	25.0	15.4
販売価格	4月～6月実績	11.1	4.0	14.3	0.0	3.3	37.5	30.8
	7月～9月予想	14.3	16.0	19.6	10.5	5.0	37.5	38.5
仕入価格	4月～6月実績	4.8	24.0	1.8	0.0	5.0	18.8	30.8
	7月～9月予想	1.1	12.0	7.1	15.8	5.0	0.0	23.1
在庫	4月～6月実績	10.9	12.0	7.1	15.8	***	0.0	30.8
	7月～9月予想	2.3	0.0	0.0	10.5	***	6.7	15.4
資金繰り	4月～6月実績	23.5	40.0	29.1	10.5	8.5	37.5	38.5
	7月～9月予想	25.1	44.0	27.3	5.3	11.9	43.8	46.2
残業時間	4月～6月実績	2.1	16.0	5.4	0.0	5.0	6.3	7.7
	7月～9月予想	0.5	4.0	0.0	0.0	0.0	6.3	7.7
人手状況	4月～6月実績	6.3	20.0	7.1	10.5	8.3	0.0	0.0
	7月～9月予想	3.2	12.0	3.6	10.5	5.0	0.0	0.0
前年同期比売上高		17.5	20.0	19.6	36.8	0.0	43.8	23.1
前年同期比収益		23.3	20.0	33.9	42.1	3.3	50.0	15.4
前年同期比販売価格		9.3	***	10.7	5.3	***	***	***

# 主な経済指標の動向

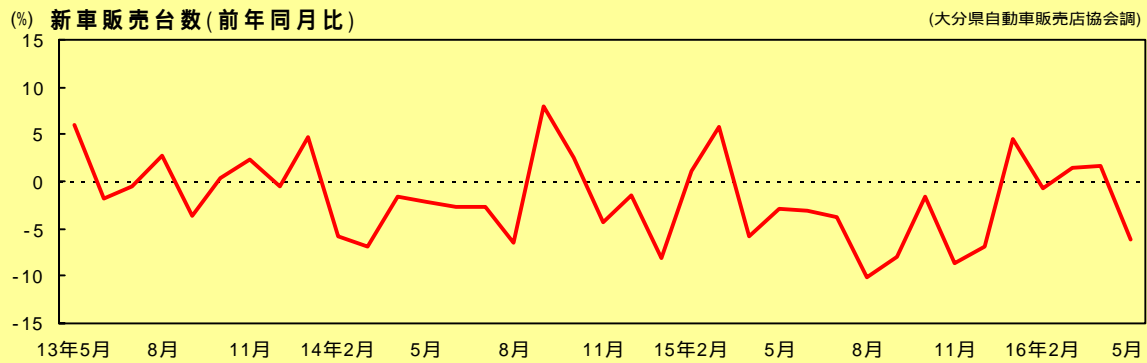
## 大規模小売店売上高

5月の県内の大規模小売店舗(22社101店舗)の総売上高は190億63百万円で、店舗調整後では前年同月比2.1ポイント減少となった。品目別では、衣料品が前年同月比3.9ポイント減、食料品が同1.2ポイント増、その他の商品が同3.5ポイント減となった。また、業態別にみると、百貨店および専門店(9社14店舗)は前年同月比0.4ポイント減、スーパー(13社87店舗)は同3.3ポイント減となった。



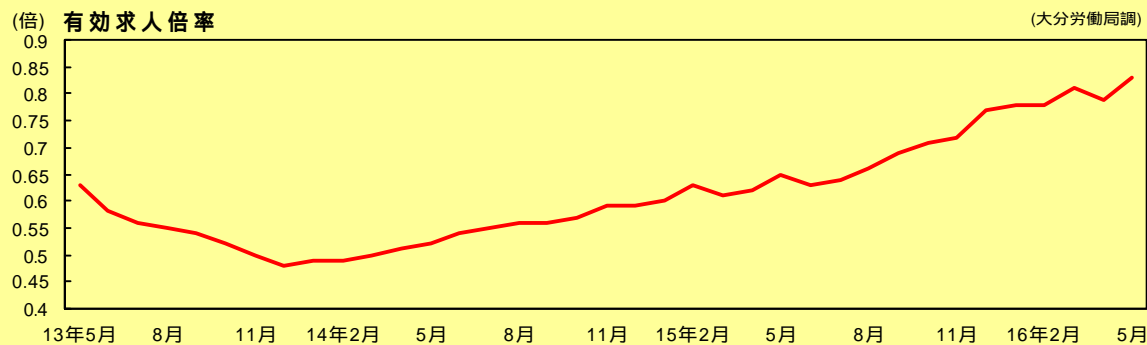
## 新車販売台数

5月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は3,894台、前年同月比6.1ポイントの減少となった。このうち、普通乗用車は前年同月比12.9ポイント増、小型乗用車は同27.5ポイント減、軽乗用車は同8.5ポイント増となっている。



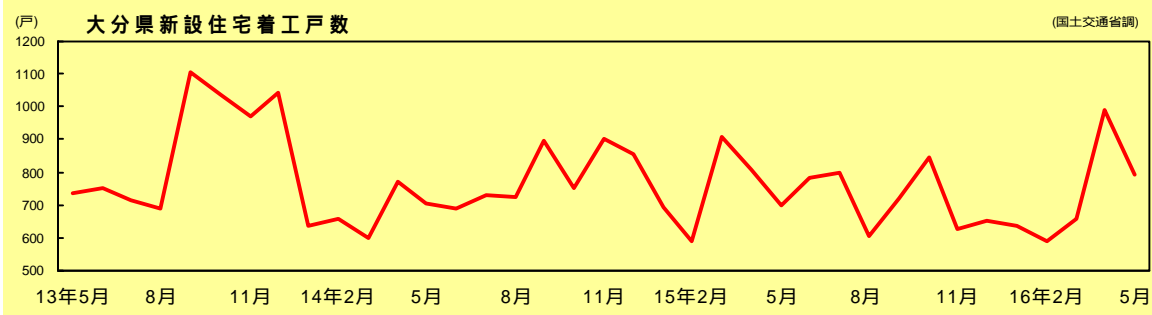
## 有効求人倍率

5月の県内の有効求人倍率(季節調整値)は0.83倍で、前月を0.04ポイント上回った。これは1993年8月以来の高水準となっている。安定所別では、別府が0.85倍と最も高くなっている。なお、全国平均は0.80倍、九州平均は0.58倍となっている。



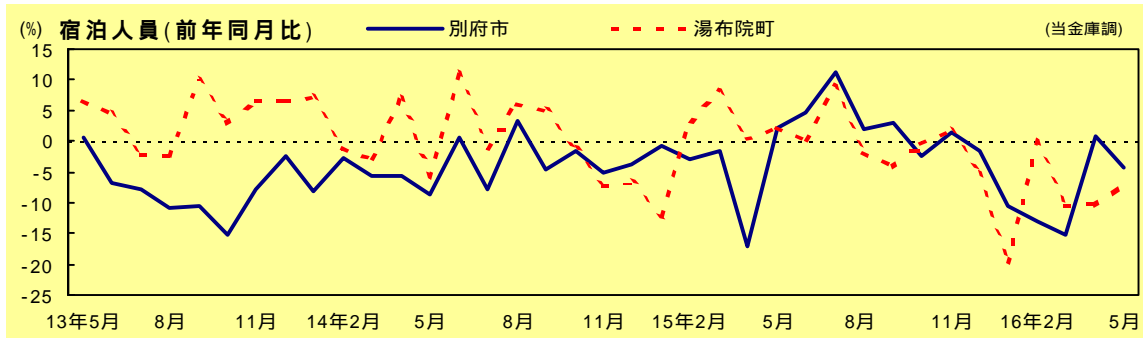
## 新設住宅着工戸数

5月の県内の住宅着工戸数は790戸で、前年同月比13.3ポイントの増加となった。うち持家が296戸で、同1.4ポイントの増加、貸家が457戸で、同40.6ポイントの増加、分譲(マンション・建売)が36戸で、同100ポイントの増加となっている。



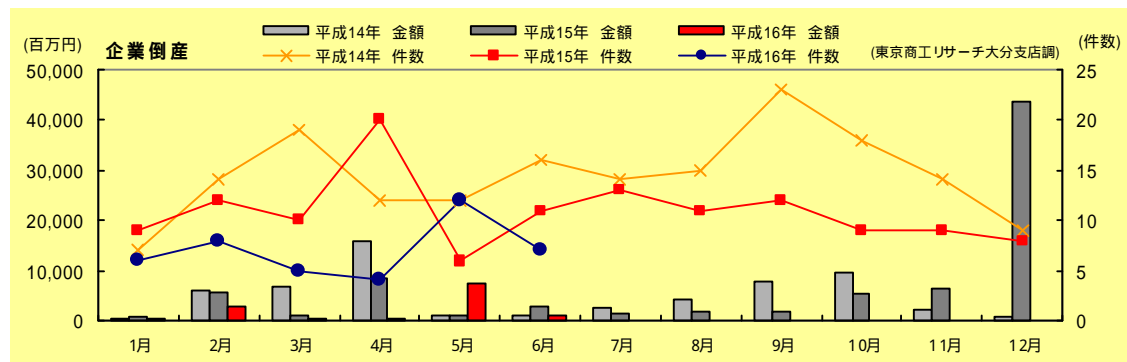
## 観光動向

観光客宿泊動態は、3月は別府市内で前年同期比15.1ポイントの減少、湯布院町で同10.5ポイントの減少。4月は別府市内で同0.8ポイントの増加、湯布院町で同10.4ポイントの減少。5月は別府市内で同4.2ポイントの減少、湯布院町で同7.1ポイントの減少となった。



## 企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店によると、県内の平成16年上半期の倒産件数は39件、負債総額は118億1千6百万円。件数は2年連続の減少、負債総額も3年連続の減少となっている。原因別では、販売不振(28件)をはじめとする不況型倒産が30件で、全体の76.9%を占める。なお、業種別では建設業が11件と最も多かったが、前年同期比では21件の減少であった。

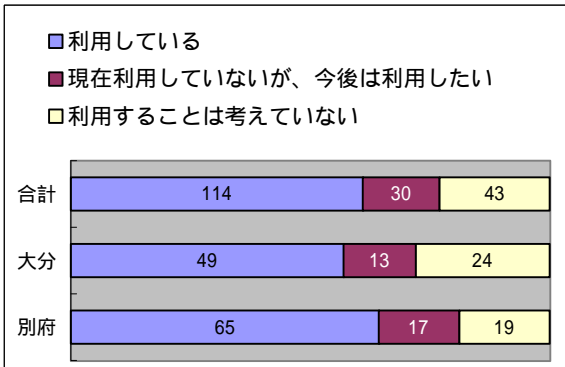


# 同時特別調査 インターネットの利用について

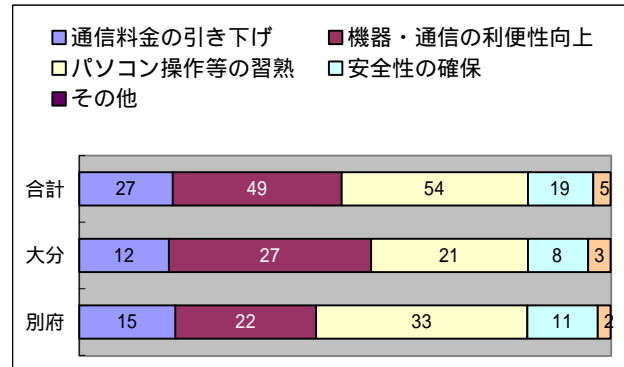
2004年4月～6月景気動向調査  
(調査先：189先)

問1.現在、貴社ではインターネット(自社ホームページ「HP」を含む)を利用していますか。下記の1～3より1つお答え下さい。また、インターネットの利用を開始または増やすために最も重要な条件を4～8より1つお答え下さい。

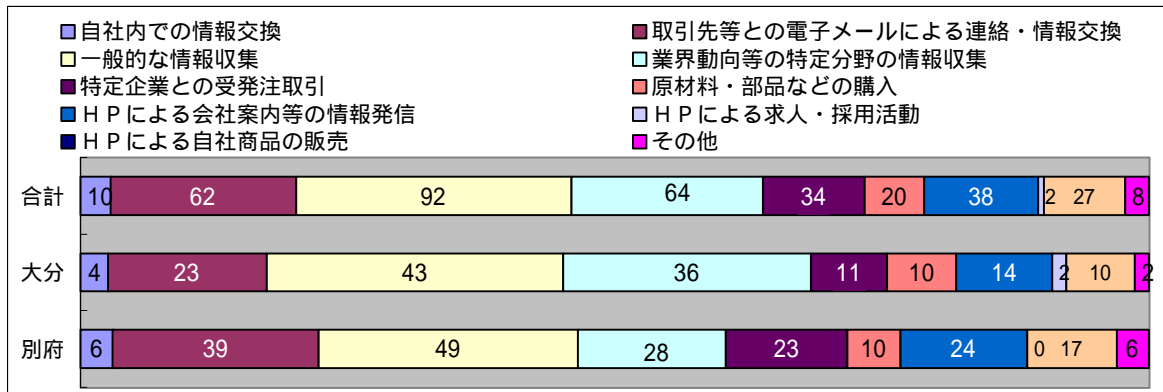
## インターネットの利用



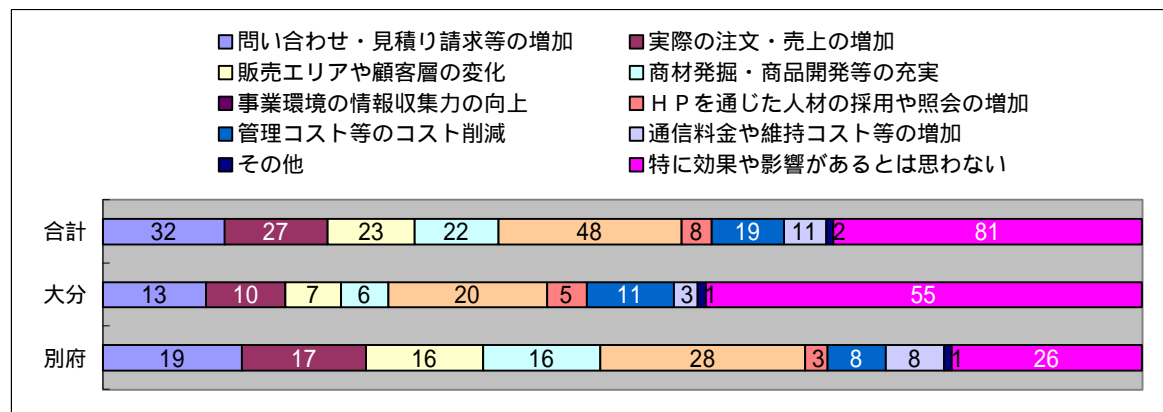
## 利用開始・増加の条件



問2.貴社では、当初どのような目的でインターネットを導入しましたか、または導入してみたいと思いますか。下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。



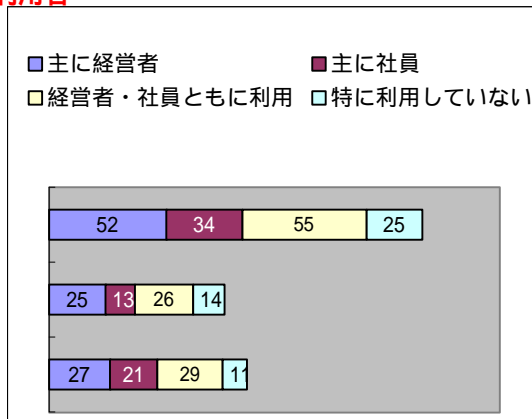
問3.近年、情報通信ネットワークが発展するなか、実際にインターネットの活用(普及)によって貴社の事業活動にどのような効果や影響がありましたか。下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。



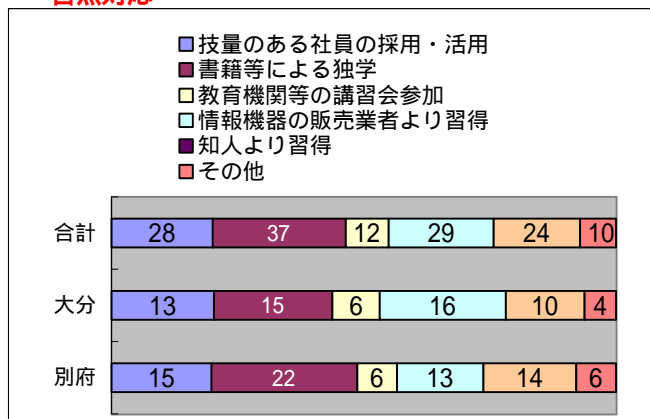


問4.貴社の業務上、パソコンやインターネットを主に利用されるのはどなたですか。下記1~4より1つお答え下さい。また、貴社ではパソコンやインターネットの操作等の習熟のためにどのように対応していますか。下記5~0より1つお答え下さい。

**利用者**

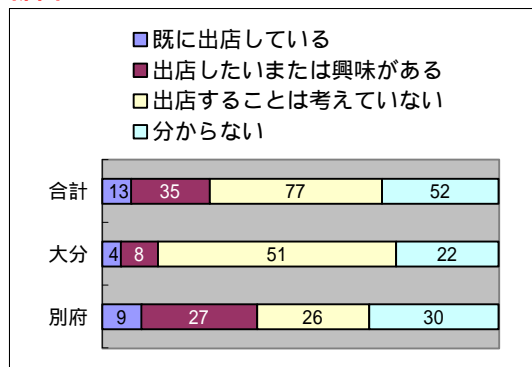


**習熟対応**



問5.貴社では、自社の商品・サービスをインターネット上で紹介、販売する仮想店舗空間(ポータルサイト)に参加・出店したいと思いますか。下記の1~4より1つお答え下さい。また、仮想店舗空間に出店するために最も重視する条件は何ですか。下記の5~0から2つ以内で選んでお答え下さい。

**出店希望**



**重視する条件**

